

啐啄

学校だより 第 1 1 号

令和 8 年 3 月

上越市立城西中学校

啐（そつ）とは、鳥が卵からかえるとき、殻の中で雛が鳴くこと。啄（たく）とは、親鳥が外から殻をつつくこと。両者相呼応した、逃すべからざる好機をいう。当校では、啐啄の精神から大きな成果が生まれると考え、職員玄関に掲額している。

三月の風に乗せて、心から「ありがとう」



3月11日(水)に、第 61 回卒業証書授与式を行いました。

卒業生 155名は、ご来賓、ご家族、在校生、職員などたくさんの方々に見守られながら巣立っていきました。少しの寂しさとともに、堂々とした姿に頼もしさを感じました。改めて、ご家族の皆様、地域の皆様からいただいたご支援とご協力に感謝申し上げます。

卒業生のますますの活躍と幸多い人生を心から願っています。





【式辞】校長



【在校生代表 送辞】



【卒業生代表 答辞】



卒業記念合唱【指揮】
【伴奏】



【感謝の言葉】



【卒業合唱】 群 青

ああ あの街で生まれて
君と出会い
たくさんの想い抱いて
一緒に時を過ごしたね

今 旅立つ日
見える景色は違っても
遠い場所でも 君も同じ空
きつと見上げてるはず

「またね」と手を振るけど
明日も会えるのかな
遠ざかる 君の笑顔 今でも忘れない

あの日見た夕日 あの日見た花火
いつでも君がいたね
あたりまえが 幸せと知った

自転車をこいで 君と行った海
鮮やかな記憶が
目を閉じれば 群青に染まる

あれから二年の日は
僕らの中を過ぎて
三月の風に吹かれ 君を今でも想う

響け この歌声
響け 遠くまでも
あの空の彼方へも
大切な 全てに届け
涙のあとにも 見上げた夜空に
希望が光ってるよ

僕らを待つ 群青の街で
きつとまた会おう
あの街で会おう
僕らの約束は
消えはしない 群青の絆

また 会おう
群青の街で

福島県南相馬市立小高中学校
平成二十四年度卒業生
(構成 小田美樹)



幸多かれ ～卒業するあなたへ～

卒業、おめでとう。3年間、よく頑張りました。

あなたがこれまで過ごしてきた日々、取り組んだこと、うまくいったこと、うまくいかなかったこと、すべてをひっくめてよく頑張りました。この3年間、体だけでなく、心も間違いなく成長しています。どんなことが成長したか、気付かないのは当たり前です。それはまだ、あなたが成長の途中だからです。

そんな成長途中で、今日、中学校の卒業式を迎えました。よくここまで頑張りました。

「将来は、予測困難な世界が待ち受けている」とよく言われますが、いつの時代だって未来は予測できません。だから面白いのだと思います。

これからの人生は、数えきれないほどの判断の連続だと思います。時には自分が信じられないこともあるかもしれませんが、でも、生きていれば、また判断する機会がやってきます。いつかきっと「そう決めてよかった」「やってよかった」と感じることはあるはずです。中学校を卒業する若いあなたには、「よかった！」と思うことや飛び上がるほどのうれしさ、震えあがるほどの喜びを感じるということがいっぱいあると思います。

私たちは、そんなあなたの人生を心から願っています。

そして、どうか、幸せでいてください。

ご家族の皆様。お子様の卒業、まことにおめでとうございませう。今までの、当校の教育へのご理解とご協力に、心からの感謝を申し上げます。本当に、ありがとうございました。

お子様はもうすぐ、「義務教育」を修了します。それぞれの人生を歩み、新たな時代を創っていく大事な若者が巣立っていきます。

これからも、人生の先輩として、お子様を見守ってあげてください。

皆様の、ご健康、そして幸多きことを願っています。

令和8年3月11日

校長 保坂 修



新生徒会 始動！～来年度の生徒会リーダーです～

生徒会執行部



各専門委員長

広報委員長

体育委員長

図書委員長

生活委員長

視聴覚委員長

保健委員長



応援委員長

給食委員長

福祉委員長

城西向上委員長

園芸委員長

環境整備委員長

協議員長

【部活動や地域クラブ活動 大会等の結果】

<男子ソフトテニス>

2月11日(水) 第43回冬季柿崎杯
(2年)・(2年)ペア 優勝

<バレーボール>

3月7日(土) 2026大潟チャレンジリーグ
1年生交流会 優勝

4月の主な予定

7日(火) 新任式、始業式 3限後、下校 給食なし

9日(木) 入学式(午後) 給食なし

13日(月) 生徒会入会式

17日(金) 標準学力検査(NRT)

23日(木)・24日(金)

 全国学力・学習状況調査(3年生)